

## 庭田ゼミが小川町で取り組んでいる 観光プロモーション活動

現代政策学部・庭田ゼミが小川町で取り組んでいる観光プロモーション活動（国土交通省事業）が、「埼玉新聞」8月4日付で紹介されました。

### 七夕まつりでドラマ

### 小川町PR、城西大生制作

映像作品を通じて小川町の新たな観光プロモーションを図ろうと、城西大学（坂戸市）の学生らが、同町の夏の風物詩「七夕まつり」会場で、お祭りを舞台にしたドラマ撮影を行った。

地域活性化を目的に国土交通省大宮国道事務所が中心となり、道の駅おがわまちと同一大学が2016年度から行っている連携事業の一環。同大現代政策学部庭田ゼミの3年生6人が出演役や撮影班となり、駅前通りや花火大会など各会場でカメラを回した。

作品のコンセプトは「小川七夕まつりのPRと、若者目線での祭りの楽しみ方の提案」。七夕まつりにやってきた仲良し女性グループの主人公が和紙の短冊に願いを懸けると、七夕の夜にある男性と運命的な出会いをするという



楽しみながら撮影を進めた城西大学の学生たち

ラブストーリーだ。

監督としてメガホンを取った鴨田さんは「前日の台風の影響で日程やシナリオの変更など大変だったが、臨機応変にベストを尽くすことの重要さを学んだ。七夕まつりにぎわいと楽しさ、和紙飾りと花火の美しさなどたくさん町の魅力を撮影できた」と納得の様子。学生を指導する庭田文近准教授は「地域の人たちとの交流を通じて地域資源のプロモーション方法を学び、将来それぞれの地域で活性化の担い手として活躍してほしい」と話した。

今回の撮影映像は約4分の作品に編集され、動画投稿サイト「ユーチューブ」などで発信する予定。海外からの視聴も想定し、中国語字幕なども制作される。（足立英樹）